苫小牧市立清水小学校学校だより

清水の子

第 9 号　令和3年11月25日発行

『未来を創造する
清水の子の育成』
◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

TEL３３－７２８５
simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp

幸せって

校長　堀田　　稔

すっかり秋が深まり冬へと歩みを進めている今日この頃ですが、最近のコロナ感染症新規感染者の数が大きく減りました。完全に無くなったわけではないので、感染対策を取りながら、学校の様々な行事や活動が再開されつつあります。完全に元に戻るには、この状態が来春まで続いて、新年度からになるのでしょうか。感染者が少ないまま推移することを願っています。

児童会はこんなことをやってくれています

10 月から後期の児童会が始まりました。児童会長はじめ役員や各委員会の委員長になった子ども達が後期の活動計画を出し、活動が始まっています。

児童会３役は「あいさつ運動、宝探し、スタンプラリー」など
学級委員会は「俳句作り、交流遊び」など
放送委員会は「日々の放送やイントロクイズ、先生クイズ」など
図書委員会は「貸出作業、親子読書の企画、３冊ディ」など
保体委員会は「リレー、大掃除、雪合戦など」を企画しています。

子ども達の姿勢に脱帽

活動の中身を見ていると、学級委員会は 11 月に低学年は「えがおの絵」を描く、３年生以上は「友達、笑顔、思いやり、感謝」のお題で川柳を書く企画でした。どんな状況であっても「楽しく学校に来て笑顔で過ごすには」が考えられている企画ばかりです。

企画に応募された川柳の一部を紹介しますと

〇「大丈夫」その一言でほっとする　　〇思いやり相手も自分も幸せだ　　など

自分のことだけではなく、周りの人々の幸せを考えている子ども達であることが伺えます。学校生活の中では、朝玄関で譲り合って入る姿があり、高跳びの授業で左右の子ども達が順番を譲り合ったり、給食の片付けの時に「重いから持ってあげる」と声掛けをしたりする場面など、「思いやりの行動」を校内で多く見かけます。清水小学校の人間性あふれる子ども達に出会え、とてもうれしく、心が育っていることを実感しています。

幸せって

ある雑誌で貧困率ランキング、子供の貧困率ランキング、幸福度ランキングなどが載っているものを目にしました。私が以前暮らしていた「コスタ・リカ」という国は貧困率世界第２位、子供の貧困率世界第１位という記事が目に留まりました。しかし、幸福度ランキングは世界１６位、日本は５６位というものでした。幸せを 200 の項目で調査したものだそうです。子ども達の貧困率が世界 1 位であっても、教育はしっかりと受けさせる国であったように感じています。

「幸せ」は多種多様で、人によって違い一言では何が幸せかと言い切れませんが、川柳や様々な活動で子ども達が表現しているように、自分も友達も幸せになれる「思いやり」を大切にしたいという考えを大事に育て、幸せをいっぱい感じてもらえたらと思っています